

(4) 関係人口の拡大

【施策の目的】

都市部にいながら何らかの形で島根に関わりたいと希望する人々を掘り起こし、県内での活動の場を提供して、地域への貢献や将来の移住につなげます。

【評価】

<前年度から評価実施年度上期までの成果と課題>

- ・東京・大阪において、課題解決型連続講座「しまコトアカデミー」やセミナー等を開催し、関係人口の掘り起こしにつながった。
- ・地域向けの研修会の開催やアドバイザーの派遣等により、関係人口の受け入れに対する機運の醸成・理解が進んでいる。
- ・しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち！」について、地域活動プログラム（オーナー）数、サポーター（関係人口）数ともに伸びており、プログラムとサポーターのマッチング件数が前年度比で約1.5倍となるなど、活用が進んでいる。
- ・島根とのつながりが生まれた関係人口を、次のステップとして、地域づくりの担い手や、将来的な移住につなげていくため、プログラム等への継続的な参加を通じて地域への関心と関わりを深めていく必要がある。
- ・島根を応援する人を増やすために、島根の魅力について、LINEを活用した情報発信のほか、ふるさと親善大使「遣島使」同士での交流を図った。
- ・島根への感謝や貢献したいという考えを有する方々へのアプローチを強化するため、寄附メニューの見直しを行い、ふるさと島根寄附金制度の活用が進んだ。一方で、寄附に関する効果的な周知が課題である。

<第2期島根創生計画初年度から評価実施年度上期までの複数年度にわたる成果と課題>

※上記で重複しない成果・課題を記載

この欄は複数年度にわたる成果と課題を記載するため令和9年度から記載

【今後の方向性】

①関係人口の拡大による、地域への貢献や将来的な移住の促進

しまコトアカデミーやセミナー受講者について、「しまっち！」サポーター登録を促し、島根とのつながりを創出していく。

関係人口側・地域側、双方のニーズに沿ったプログラムの企画を学ぶ実践的な講座を開催し、関係人口が継続的に地域に関わる仕組みづくりを進める。

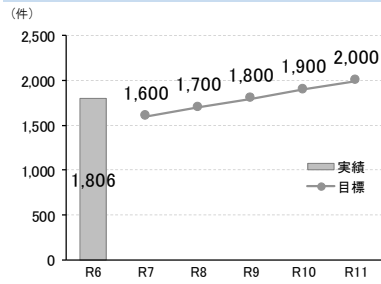
②島根を応援する人を増やすための情報発信と交流の場づくり

島根の認知度向上について、県公式LINEへの登録を促すキャンペーンを積極的、継続的に行うとともに、引き続き、交流会等を通じた「遣島使」同士の交流を活性化させる。

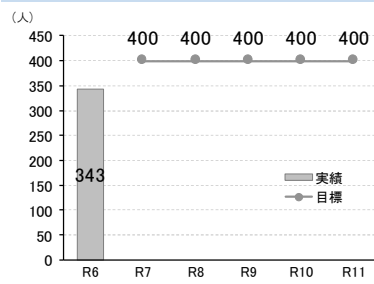
ふるさと島根寄附金の活用目的や活用事業等をより多くの方々に知ってもらうよう取り組みとともに、寄附者に対して、継続的なつながりが持てるよう定期的な情報発信に取り組む。

【施策の主なKPIの状況】

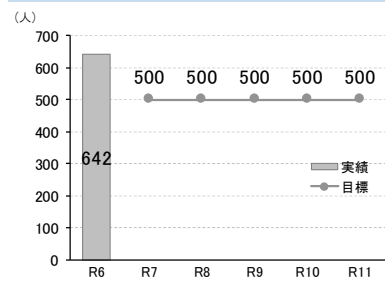
1) ふるさと島根寄附金の寄附件数【当該年度4月～3月】



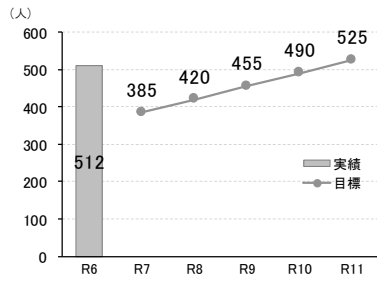
2) 移住支援東京拠点等での関係人口拡大セミナー受講者数【当該年度4月～3月】



3) 「しまね関係人口マッチング・交流サイトしまっち！」サポーター新規登録者数【当該年度4月～3月】



4) 「しまね関係人口マッチング・交流サイトしまっち！」によるマッチング人数【当該年度4月～3月】



施策の主なK P I

施策の名称	IV-2-(4) 関係人口の拡大
-------	------------------

番号	K P I の名称	上段は目標値、下段は実績値					単位	計上分類	備考	
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				令和11年度
1	ふるさと島根寄附金の寄附件数【当該年度4月～3月】		1,600.0	1,700.0	1,800.0	1,900.0	2,000.0	件	単年度値	
		1,806.0								
2	移住支援東京拠点等での関係人口拡大セミナー受講者数【当該年度4月～3月】		400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	人	単年度値	
		343.0								
3	「しまね関係人口マッチング・交流サイトしまっち！」サポーター新規登録者数【当該年度4月～3月】		500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	人	単年度値	
		642.0								
4	「しまね関係人口マッチング・交流サイトしまっち！」によるマッチング人数【当該年度4月～3月】		385.0	420.0	455.0	490.0	525.0	人	単年度値	
		512.0								
5										

（第2期島根創生計画に掲げる施策の【取組の方向】）

①関係人口の拡大による、地域への貢献や将来的な移住の促進

都市部での関係人口の掘り起こし、島根への理解促進や意識啓発を行うとともに、「しまっち！」の活用などにより、様々な形で島根に貢献していただく機会や活動の場を提供します。また、地方の暮らしに関心を持つ方には、市町村やふるさと島根定住財団と連携して、島根への移住の検討に向けた支援を行います。特に首都圏・関西圏での関係人口の拡大に向けた取組を強化します。

②島根を応援する人を増やすための情報発信と交流の場づくり

しまねの「魅力」や島根らしさの情報発信を強化し、島根の暮らしに関心を持つ人や島根を応援する島根ファンの交流の場づくりを支援します。

事務事業の一覧

施策の名称		IV-2-(4) 関係人口の拡大				
	事務事業の名称	目的		前年度の 事業費 (千円)	今年度の 事業費 (千円)	所管課名
		誰(何)を対象として	どういう状態を目指すのか			
1	ふるさと島根寄附金	国民	ふるさと納税のPRを最小の経費で効果的に行い、寄附を通じて島根に関心を持つ人や島根を応援する人の増加に寄与する。	52,379	62,415	政策企画監室
2	島根を創る人づくりプロジェクト	県民(主に若年層)	島根の次代を担う若者の「育成」と「環流」を一体的・系統的に推し進め、県内定着等の一層の促進を図る。	10,290	10,290	政策企画監室
3	島根県の認知度向上対策事業	県民、県外在住者	島根の魅力や島根らしさの情報発信を行うことで県の認知度を向上させる。	23,242	19,834	広聴広報課
4	しまね関係人口・移住促進事業	地域への関わりを希望する者	島根に関わりたいと希望する人々を掘り起こし、県内での活躍の場を提供して、地域活性化への貢献や将来の移住につなげる。	70,764	103,699	しまね暮らし推進課

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課	政策企画監室
-----	--------

事務事業の名称		ふるさと島根寄附金				
目的	誰(何)を対象として	国民		事業費 (千円)	令和6年度の実績額	令和7年度の当初予算額
	どうい状態を目指すのか	ふるさと納税のPRを最小の経費で効果的に行い、寄附を通じて島根に関心を持つ人や島根を応援する人の増加に寄与する。			52,379	62,415
				うち一般財源 (千円)	12,334	18,799
令和7年度の取組内容		・ふるさと島根寄附金条例に基づき収受した寄附金を基金へ積み立て、県の行う事業の推進のために活用するとともに、制度の活性化を図るために、パンフレット等によるPR、県産品の贈呈、クレジットカード等による寄附金収納事務を行う。 ・「ふるさと納税に係る指定制度」(総務省)に基づき、返礼品の処理を行うとともに、制度の運営にあたって市町村への相談対応及び情報提供を行う。				
令和6年度に行った評価を踏まえて見直したこと						
1	上位の施策	IV-2-(4) 関係人口の拡大	3	上位の施策		
2	上位の施策		4	上位の施策		

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上分類
1	ふるさと島根寄附金の寄附件数【当該年度4月～3月】	目標値			1,600.0	1,700.0	1,800.0	1,900.0	2,000.0	件	単年度値
		実績値	1,324.0	1,806.0							
		達成率	-	-	-	-	-	-	-		
2		目標値									
		実績値									
		達成率	-	-	-	-	-	-	-		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		・ふるさと島根寄附金 令和6年度 寄附件数1,806件(+482件)、寄附金額40,044千円(+14,553千円) 令和6年分 寄附件数1,543件(+218件)、寄附金額38,196千円(+10,595千円) (参考)ふるさと納税全体 令和6年度 寄附件数2,140件(+468件)、寄附金額53,454千円(+20,474千円) 令和6年分 寄附件数1,896件(+217件)、寄附金額55,296千円(+16,628千円) ・ふるさと納税を実施する団体においては、令和元年6月より「ふるさと納税に係る指定制度」が導入され、総務省の指定を受けることが必要となった。指定を受けるにあたっては返礼品について次の基準を満たす必要があるほか、返礼品を強調した広告や返礼品を主とした内容のパンフレットの不特定多数への配布はできない。①寄附金に占める返礼品の割合が3割以下であること、②寄附金に占めるの返礼品と事務費を含めた割合が5割以下であること、③国の基準を満たす地場産品とすること。									

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	従来は寄附金額を4コースに設定し、コースの金額に応じた品を返礼品として選定していたが、R6年度からはコース設定をやめ、寄附者の寄附希望額に沿うことができるよう、寄附額及び返礼品の価格帯を広げた。
課題分析	①課題	「目的」達成のため(又は達成した状態を維持するために)支障となっている点
	②原因	上記①(課題)が発生している原因
	③方向性	上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性

新規の寄附、継続的な寄附を募るためのPRが十分でない。

・寄附のPRについて、多くの自治体が複数社のPRサイトを活用しているなか、本県は1社のみでの活用としている。

・県内の市町村に対する寄附に大きな影響を与えるような取組は控えながらも、県の施策や活用事業のPRをより広く行うため、インシャルコストを抑えつつ、PRサイトを増やすことなどにより、県全体の寄附の増加と、返礼品の贈呈による特産品を含む本県の魅力の発信を図る。

・引き続き寄附金を活用した事業の実績報告書を作成し、寄附者に対してメールや郵送等により周知する。また、他部局と連携し、寄附者への継続的な繋がりを保つための取組を更に強化する。

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

政策企画監室

事務事業の名称		島根を創る人づくりプロジェクト				
目的	誰(何)を対象として	県民(主に若年層)		事業費(千円)	令和6年度の実績額	令和7年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	島根の次代を担う若者の「育成」と「環流」を一体的・系統的に推進し、県内定着等の一層の促進を図る。			10,290	10,290
				うち一般財源(千円)	10,290	10,290
令和7年度の取組内容		・プロジェクトの進捗管理、評価・検証のために作成した、主要な取組に係るロードマップに基づき、実践評価改善点の洗い出しを行う。 ・就職に直結することが多いとされるインターンシップの強化に向けて、関係部局やしまね産学官人材育成コンソーシアムと連携した取組を行う。				
令和6年度に行った評価を踏まえて見直したこと						
1	上位の施策	IV-1-(1) 学校と地域の協働による人づくり	3	上位の施策	IV-1-(3) 地域を担う人づくり	
2	上位の施策	IV-2-(1) しまねの「暮らし」や「魅力」の情報発信	4	上位の施策	IV-2-(2) 若者の県内就職の促進	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上分類
1	県内大学の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値			36.8	37.5	38.2	38.9	39.6	%	単年度値
		実績値	33.3	35.1							
		達成率	-	-	-	-	-	-	-		
2	県外4年制大学の島根県出身者の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値			30.0	30.6	31.2	31.8	32.4	%	単年度値
		実績値	28.8	26.5							
		達成率	-	-	-	-	-	-	-		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		(しまね産学官人材育成コンソーシアムのKPI) ・県内高等教育機関卒業生の県内就職率 令和6年度34.0%(令和6年度目標値 39.4%)									

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・本プロジェクトにかかる事業の評価・検証ツールとして、主要な取組についてロードマップを作成し、進捗管理を行った。 ・「しまね登録」について、登録率が低調であったことから、システム運用元のふるさと島根定住財団職員が高校に出向き、高校生に登録を呼びかけるなど、登録者数が増加する取組を行った。その結果、R6年度の登録率はR5年度比で増加した。(R5年度:55.5%→R6年度:59.6%)
課題分析	① 課題	・15歳～24歳の若年層の就学、卒業及び就職を理由とする転出超過が続いている。 ・大学生の県内就職に関し、影響力を持つ保護者への働きかけが十分ではない。 ・しまね産学官コンソーシアムの「産」の取組が弱く、就職先となる県内企業の採用力・魅力発信力が十分ではない。 ・年間Uターン者数は、横ばい傾向である。
	② 原因	・保護者への直接的なアプローチや、本プロジェクトの取組への理解に向けたPR・周知が十分にできていない。 ・県内企業側に採用活動に人員や時間を割く余力がなかったり、企業の魅力が伝わらず、企業説明会やインターンシップへの参加者数が増えない企業もある。 ・少子化の影響等で県外に在住の島根県出身者も減少しており、また、Uターンについても、全国で自治体間の競争が激しくなっている。
	③ 方向性	・関係者でロードマップによる進捗管理、評価・検証を行う過程で、ロードマップに盛り込んでいる具体的な取組(しまね登録や保護者対策など)に関して不十分な点があれば改善を行う。 ・市町村を含めた関係者と連携してプロジェクトを効率的に実施するために、可能な限り情報共有を行う。また、本プロジェクトの取組内容や成果等についての周知、PRを図る。

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

広聴広報課

事務事業の名称		島根県の認知度向上対策事業			
目的	誰(何)を対象として	県民、県外在住者	事業費 (千円)	令和6年度の実績額	令和7年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	島根の魅力や島根らしさの情報発信を行うことで県の認知度を向上させる		うち一般財源 (千円)	23,242
令和7年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 県内外の、特に若い世代へ訴求する手段としてLINE等のSNSによる県政情報の発信を実施 県外への情報提供(遣島使): 県情報の提供等により遣島使のPR活動を支援 県外への情報提供(県人会): 県情報の提供、県外在住功労者への表彰などにより県人会の活動を支援 島根の応援団ネットワーク事業: 県の広報キャラクター「しまねSuper大使吉田くん」を活用した情報発信を実施 				
令和6年度に行った評価を踏まえて見直した点	「もっとリメンバーしまね」について、近年、新規登録者数、投稿数とも減少傾向にあったことから令和6年度末をもってサイトを終了した。				
1	上位の施策	IV-2-(1) しまねの「暮らし」や「魅力」の情報発信	3	上位の施策	
2	上位の施策	IV-2-(4) 関係人口の拡大	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上分類
1	島根県公式LINE登録者(お友だち)数【当該年度3月時点】	目標値			31,000.0	37,000.0	43,000.0	49,000.0	55,000.0	人	累計値
		実績値	20,769.0	26,662.0							
		達成率	-	-	-	-	-	-	-		
2		目標値									
		実績値									
		達成率	-	-	-	-	-	-	-		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		遣島使人数 633人(R7.6月現在)									

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	県内外に向けて島根の魅力を発信する手段として、LINEはユーザー数が多く、ユーザー年齢層が幅広いことに加えて、通知で開封がされやすいというメリットがあることから、島根県公式LINE登録者数を増やすことにより、より多くの人に情報を発信し、県の認知度を向上させる。 島根県公式LINE登録者数 [R5]20,769人 → [R6]26,662人
課題分析	① 課題	島根県公式LINEの登録者数は自然発生的には増えていかない。様々な情報がある中で、島の魅力や島根らしさの情報を入手してもらうためには積極的、継続的な働きかけをしていく必要がある。
	② 原因	島根県公式LINEの存在や、登録のメリットが十分伝わっていない可能性がある。
	③ 方向性	島根県公式LINEの登録者数を増やすため、プレゼントキャンペーンを実施するほか、キャンペーンの際には県公式LINEにより配信している内容等を伝え、防災情報等と連携している点など登録のメリットを感じてもらおうよう広告する。 また、遣島使や県人会に対してメール等で県公式LINE登録の呼びかけを行うなど、遣島使や県人会を活用して、県外在住者の登録者数の増加につなげる。

事務事業評価シート

1 事務事業の概要	担当課 しまね暮らし推進課
------------------	---

事務事業の名称		しまね関係人口・移住促進事業			
目的	誰(何)を対象として	地域への関わりを希望する者	事業費 (千円)	令和6年度の実績額	令和7年度の当初予算額
	どうい状態を目指すのか	島根に関わりたいと希望する人々を掘り起こし、県内での活躍の場を提供して、地域活性化への貢献や将来の移住につなげる。		70,764	103,699
令和7年度の取組内容		・関係人口と地域をマッチングする関係人口マッチング・交流サイト「しまっち！」の運営 「しまっち！」参加者の滞在型地域活動体験の受入検証 地域づくり関心層に向けて、地域づくり活動を新たに始めるための実践的な講座を新設 ・定住財団東京サテライト及び県大阪事務所によるセミナー等の開催を通じた関係人口の掘り起こし ・都市部の大学と連携した島根の地域を学ぶ講座の開催、地域活動参加への誘導 ・地域を対象とした研修の開催やアドバイザー派遣による、関係人口受入機運の醸成 ・県出身学生と島根とのつながりを創出・維持するための情報発信やイベント等の開催			
令和6年度に行った評価を踏まえて見直したこと		・関係人口セミナー受講者等について参加者を把握し、最終的に「しまっち！」「しまね登録」につながった人数等を確認する方策の実施。 ・「しまっち！」プログラムオーナーの育成に向けた講座の開設			
1	上位の施策	IV-2-(4) 関係人口の拡大	3	上位の施策	IV-2-(2) 若者の県内就職の促進
2	上位の施策	I-3-(1) 多様な就業の支援	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上分類
1	移住支援東京拠点等での関係人口拡大セミナー受講者数【当該年度4月～3月】	目標値			400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	人	単年度値
		実績値	397.0	343.0							
		達成率	-	-	-	-	-	-	-		
2	「しまね関係人口マッチング・交流サイトしまっち！」サポーター新規登録者数【当該年度4月～3月】	目標値			500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	人	単年度値
		実績値	566.0	642.0							
		達成率	-	-	-	-	-	-	-		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		・「しまっち！」掲載プログラム累計:330件 「しまっち！」サポーター登録累計:1639件									

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・関係人口の具体的な活動となる、「しまね関係人口マッチング・交流サイトしまっち！」のオーナー・サポーター登録、マッチング件数は順調に増加しており、ニーズをとらえた取組となっている。
課題分析	① 課題	・掘り起こした関係人口に対して、島根と関わる機会を増やし、より関心を深めていく必要がある。 ・「しまっち！」等に参加した関係人口について、関係を深めて運営側に回ってもらうなど、地域づくりの担い手につなげる方策を検討する必要がある。
	② 原因	・セミナー等で掘り起こした関係人口について、ニーズに沿ったプログラムへの接続が十分にできていない。 ・関係人口を地域活動の担い手として受け入れるための方策について、県内地域への波及が進んでいない。
	③ 方向性	・関係人口セミナー受講者等向けに島根の地域で活動できるプログラムを案内するなど、関係人口の地域づくりへの参画や将来的な移住につなげていく視点での取組を進める。 ・都市部での島根県関係イベントへの参画や「しまっち！」登録促進等の実施により、島根県との関わりをより深化する。 ・「しまっち！」プログラム参加者について、引き続き地域に短期滞在しながら地域活動へ参加してもらうモデル事業を実施し、地域の運営側の役割を担っていく仕組みを検証する。 ・県内の地域づくり関心層に向けて、地域づくり活動を新たに始めるための実践的な講座を新設し、島根県側の受け皿となる団体等を育成していく。 ・関わりを深めた方の中で将来的な移住に関心がある層については、しまね登録を案内するなど、必要な情報を随時提供する。

